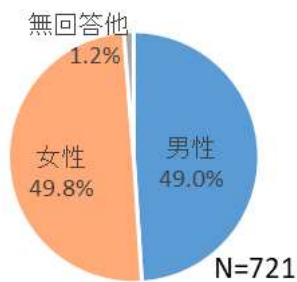


市内中学生・高校生意識調査結果概要書

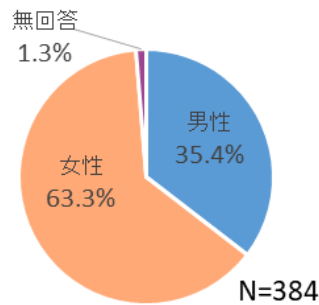
回答者属性

回答数は、中学生が721票、高校生が384票
 中学生は、回答者の女性、男性の割合がそれぞれ5割
 高校生は、63.3%が女性、35.4%が男性

中学生



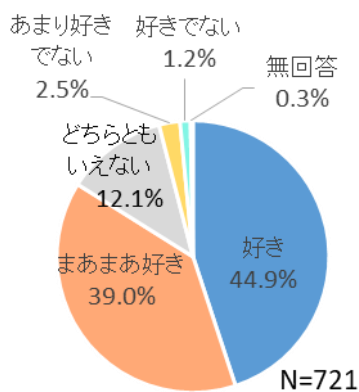
高校生



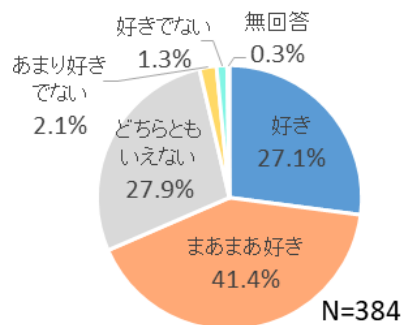
(1) 南陽市が好きか

好き、まあまあ好きを合わせて、中学生は83.9%、高校生は68.8%（参考 社会人は71.7%）
 あまり好きではない、好きではないを合わせて、中学生は3.7%、高校生は3.4%（参考 社会人は5%）

中学生



高校生



参考)社会人



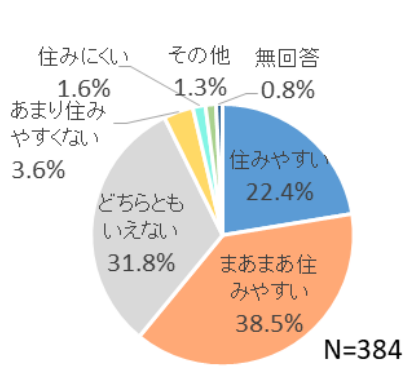
(2) 本市の住みやすさ

住みやすい、まあまあ住みやすいを合わせて、中学生は83.2%、高校生は60.9%（参考 社会人は68.3%）
 住みにくい、あまり住みやすくないを合わせて、中学生は4%、高校生は5.2%（参考 社会人は13.5%）

中学生



高校生



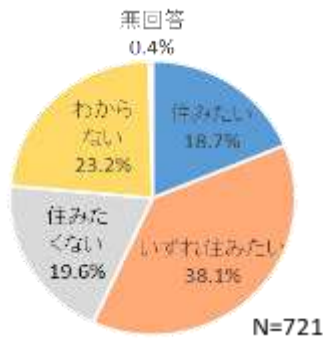
参考)社会人



(3) これからも住み続けたいか

中学生は、住み続けたい、一度離れてもいつかは住みたいを合わせて56.8%（前回調査比7.8ポイント増）
 高校生は、住みたい、いずれ住みたいを合わせて34.1%（前回調査比10ポイント減）
 （参考 社会人は、住み続けたい、どちらかといえば住み続けたいを合わせて67.1%）
 中学生は、住み続けたくないが19.6%（前回調査比5.5ポイント減）
 高校生は、住みたいと思わないが26.6%（前回調査比5.4ポイント増）
 （参考 社会人は、どちらかといえば住み続けたくない、別の場所に引っ越したいを合わせて13.1%）

中学生



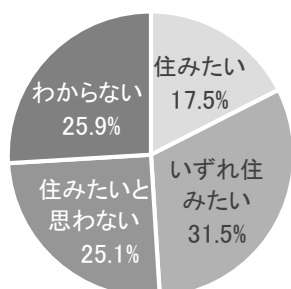
高校生



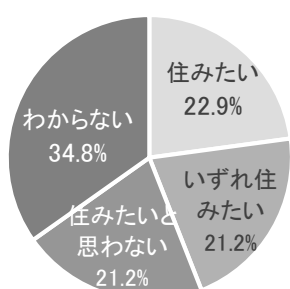
参考)社会人



H26調査時 中学生



H26調査時 高校生



住みたい理由では、中学生、高校生ともに「自然環境がよい」、「愛着を感じる」、「家族と一緒にまたは近くに住みたい」、「友人がいる」が上位に並ぶ。
住みたくない理由では、中学生、高校生いずれも「買い物や遊ぶ場所がない」が突出して高い。

※住みたい理由



※住みたくない理由



(4) 卒業後の進路

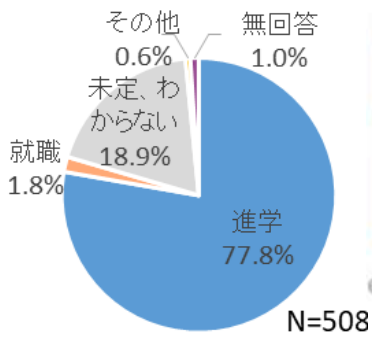
中学生の 77.8% (前回調査比 1.6 ポイント増)、高校生の 77.8% (同 11.8 ポイント減) が進学を選択している。(H26 調査時 中学生 76.2%、高校生 89.6%)

中学生は、「未定、分からない」が 18.9%あった。

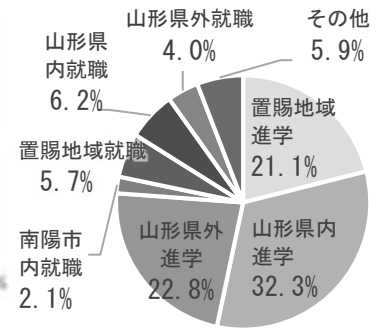
高校生の進学先では、「山形県外」が約 6 割、置賜地域を含む「山形県内」が約 4 割で県外志向が高い。

高校生の就職先では、「山形県外」が約 2 割、置賜地域以外の山形県内が約 3 割となっており、最大で全体の約 5 割が置賜地域から転出する可能性がある。

中学生



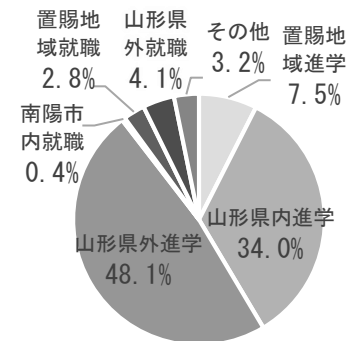
H26調査時 中学生



高校生



H26調査時 高校生



(5) 南陽市で充実してほしいこと

中学生、高校生ともに「買い物や食事が楽しめる施設」が最も多く、上位には「健康・スポーツ・趣味の活動ができる場」、「観光・レクリエーション・遊び場」、「公園、緑地など身近な休める場」などが並ぶ。

中学生



高校生

